

がんばれ、バス!

地域公共交通の課題が浮き彫りとなっていくなか、市では「行きたいまち、住みたいまち」〜公共交通の改善により、選ばれるまちへ〜を基本方針とした**沼津市地域公共交通計画**を策定しました。また、アクションプランとして、**地域公共交通利便増進実施計画**を策定し、市内の路線見直しや持続的な移動手段の確保、利便性向上による利用促進を目指しています。

市ではこれらの計画に基づき、交通事業者のサポートやお出かけしたくなるような情報発信に取り組んでいます。今回の広報めまづでの発信もそのひとつです。
市民の皆さんが、公共交通の現状や課題を「沼津のこと、自分のこと」として捉え、公共交通を利用したくなるような、バスを応援したくなるような取り組みを進めています。

past これまでの取り組み

沼津駅南口バスターミナルの再編
事業者ごとに設定されていた乗り場を行先方面別の乗り場に再編し、初めて沼津でバスに乗る人もわかりやすくなりました!

沼津駅南口と沼津港にデジタルサイネージを設置!
デジタル表示のインフォメーションディスプレイが登場しました!各バス会社からの情報とリンクさせて、沼津駅南口発・沼津港発のバス運行情報を表示しています。

バス3社共通フリーパス「サンシャインパス」
市内に住むか通学している学生を対象とした、市内バス路線が乗り放題になるバス会社3社共通定期券を販売しました。全国的にもレアな取り組みで大好評でした!

future これからの取り組み

夜間乗合タクシーの実証運行
路線バスが終了した時間帯で、タクシーを活用した乗合タクシーの実証運行を実施し、夜間時間帯においても使いやすい公共交通を目指します。

交通DXを推進します!
バス・鉄道経路検索アプリを通して、観光やイベント情報等の役立つ情報についても、併せてわかりやすい形で提供します!

片浜駅にもデジタルサイネージを設置します!
わかりやすい!と大好評のデジタルサイネージを片浜駅にも設置することで、より便利にバスを利用できるようになります!



乗合タクシーもがんばれ!

沼津市の乗合タクシーは、通常のタクシー車両を使い、複数の人と乗り合わせてバス停間を運行する公共交通です。

バスの日にちなんで イベント開催!

バス会社3社のバスが沼津駅前集合!バスを隅々まで探索しながら、ぬまバスくんからの挑戦状をクリアして沼津バス博士認定証をゲットしよう!
とき 9月23日(例)、9時~13時 (受付は12時30分まで)
ところ 沼津駅南口前広場(旧西武百貨店本館跡地)
※当日、直接会場へどうぞ。

アンケートにご協力ください

皆さんの日常移動についての現状、困りごと等を把握し、より良い公共交通を目指するため、静岡県立大学の学生と協力してアンケートを実施しています。
回答時間は10分程度です。専用フォームをご覧ください。
回答をお願いします!
静岡県立大学経営情報学部 大久保あかね観光研究室
0909・34883・20553
055・034・4759
まちづくり政策課(交通政策室)
※詳細は、市ホームページをご覧ください。



けっこう便利!



ぬまバスくんからの挑戦状
ぼくはぬまバスくん。ぼくからバスについてのクイズをいくつか出題するよ。バスを探検したり、バス停の時刻表を見たらわかるかも。クイズは初級から上級まで用意してあるから、子供から大人まで楽しめるよ!

バスに乗って揺られて♪
公共交通deおでかけマップをご利用ください!



市内を走るバス路線図を基本に、公共交通に関する情報のほか、富士山ビュースポットなど沼津の魅力なスポットを盛り込んだマップとなっています。沼津駅2階沼津観光案内所や沼津みなと新鮮館等、市内各所で配布しています。
また、アプリ上で沼津市公共交通deおでかけマップを閲覧す

がんばろう、バス!



自動運転でまちに活力を!

沼津だけでなく、全国的に少子高齢化・人口減少などによって公共交通の維持継続が危ぶまれています。

また、近年では運転手不足も顕著となり、バス路線を維持したくても人手不足により路線バスの廃止・縮小に追い込まれるケースも見られます。

人手不足、すなわち運転手不足は公共交通の維持継続に直接的に影響をもたらし、バス路線が縮小することによって、普段の買い物や通勤・通学、高齢者の通院などもままならない状況も考えられます。

運転手不足という課題の解決策のひとつとして期待されているのがバスの「自動運転」です。

市では、県と協力しながら自動運転バスの実証運行に取り組んでいます。

沼津駅と沼津港を結ぶ観光路線として二ノズが高い中心市街地のメインストリートに自動運転車両が走行することで運転手不足を解消しながら、まちにぎわいをもたらす、自動運転を契機にまち全体の活力の醸成に繋げることも目指しています。



※自動運転レベル4とは、特定条件下で運転手が介在せずに、自動運転システムがすべての運転を行うことです。

今年度も引き続き国土交通省からの補助を受け、自動運転車両の大型化、走行速度の高速化を目指します。
さらに新しい取り組みとして、自動運転車両を安全かつ円滑に走行させるための道路空間に必要な施設等を模範的に構築し、その効果について検証を行います。

バスのハンドルを握って24年、ベテラン運転手である杉山孝さんは「道が広いから走りやすい」という沼津市内だけでなく、三島、伊豆長岡、熱海など伊豆箱根バスの営業区間で、たくさんのお客さんを乗せています。
現在は後進の指導育成も杉山さんの大切な役割。「大好きなアニメのラッピングバスを運転してみたいとか、この車両のハンドルを握ってみたいなんて、後輩たちがバス運転手を志望する理由は様々です。県外出身の後輩もいるのですが、大きなバスの憧れって今も昔も変わらないんです」と教えてくれました。
公共交通の担い手の最前線にいるバス運転手のやりがいや魅力を「常連さんのお年寄り、小さな子供、そして

最近では観光で沼津に来る外国人のお客さん等ほとんどの人が、運賃を払うときにありがとや、サンキューって声をかけてくれること。お客さんはお金を払う側なのにこんなにダイレクトに感謝されるんだから、とてもありがたいことだと誇りに思っています」と目を細めます。
バスの運転手不足が懸念される昨今、市内を運行するバス会社3社では、連携して運転体験会などを開催し、担い手確保に奔走しています。
入社時に大型免許・大型一種などの免許を持っていないくても、丁寧な育成プランでバス運転手への道をサポートする制度も充実しているそうです。
採用情報等の詳細は、各バス会社のホームページをご覧ください。